

## 府中市観光振興プラン検討協議会 第6回 議事録

1 日時：令和3年9月10日（金） 14時00分～16時00分

2 場所：市役所北庁舎3階第1・2会議室

3 出席者：＜順不同敬称略＞

公募市民	石川伊智郎	
商工関係団体の推薦する者	井上博正	むさし府中商工会議所
府中観光協会の推薦する者	宇田雅志	府中観光協会
学識経験を有する者	大下茂	帝京大学教授
府中観光協会の推薦する者	大津貞夫	府中観光協会
学識経験を有する者	小野一之	郷土の森博物館前館長
民間事業者の推薦する者	井上光男	サントリービール株式会社
商工関係団体の推薦する者	筒井孝敏	府中市商店街連合会
民間事業者の推薦する者	都留圭一郎	日本中央競馬会 東京競馬場
学識経験を有する者	得居泰司	ジェイコム東京 J:COM アナウンサー
民間事業者の推薦する者	林健太郎	京王電鉄株式会社
商工関係団体の推薦する者	廣瀬健	まちづくり府中
公募市民	深澤廣太郎	
公募市民	横山年子	

4 次第

(1) 開会

(2) 確認事項

府中市観光振興プラン検討協議会 第5回 議事録について

(3) 審議事項

- ・府中市観光振興プラン（令和4年度～令和11年度）1章～6章の確認及び意見聴取について
- ・スローガン・コンセプトについて
- ・府中市観光振興プランの答申について

(4) その他

## 5 議事の内容

### (1) 開会

開会挨拶(大津会長)

#### 【大津会長】

本日は大変お忙しい中、またコロナ禍にも関わらず検討協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスもいつ収束するかまだまだ先のことかとは思いますが、皆様におかれましてもご自愛いただき、健康には十分に留意いただければと思います。

本日の検討協議会ですが、第6回目となりまして、答申をする前の会議としては本日が最終でございます。本日は非常に大切な会議となっておりますので、皆様の活発なご意見をよろしく願います。また、皆様におかれましては、1年間、大変長い間本当にありがとうございました。

生活環境部長挨拶(山下部長)

最後の検討協議会となりますので、事務局を代表して、お礼とご挨拶をさせていただきます。

委員の皆さまには、コロナ禍で非常に困難な状況のなか、昨年9月から丸1年にわたり、本市の観光振興プラン策定にご協力とご尽力をいただき、誠にありがとうございました。

協議会の中では、様々な課題に対して委員の皆さまから貴重なご意見をいただき、広く市民・事業者・関係団体などの意見を反映した、観光の持つ交流、市内の多様な主体との連携など新しい視点が整理された賑わい創出のための基本的な戦略がまとまったものと伺っております。本市としては、新しい観光振興プランに基づき、市民、事業者、関係団体などの連携をより一層深め、本市が有する特性や優位性を活かした魅力ある観光施策を今後展開してまいりたいと思っております。

結びになりますが、本観光振興プラン策定にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

委員出席状況(事務局)

#### 【事務局】

本日の委員の出席状況ですが、長尾委員より欠席の連絡をいただいております。現在、委員定数15名のうち、過半数を超える14名の委員が出席されておりますので、本協議会は有効に成立しておりますことをご報告いたします。

#### 【大津会長】

本日の協議会は有効に成立していると報告がございました。

続いて、事務局から傍聴希望を報告してください。

傍聴希望の状況について(事務局)

#### 【事務局】

昨日までに、傍聴を希望された方はおりませんでしたので、本日の傍聴希望者はおりません。

## 配布資料の確認(事務局)

### ・配付資料

#### 次第

第6回府中市観光振興プラン検討協議会 進行資料

資料 6-1 府中市観光振興プラン検討協議会 第5回 議事録

資料 6-2 府中市観光振興プラン 1章～6章(案)

資料 6-3 府中市観光振興プランの策定について(答申)

## (2) 確認事項

府中市観光振興プラン検討協議会 第5回 議事録について

※別紙資料 6-1 参照

### 【大津会長】

府中市観光振興プラン検討協議会第5回議事録について、事務局から委員の皆様へ事前送付されております。本日資料 6-1 としてお手元にございますが、各委員の皆様へ内容を確認いただいた中で、修正すべき点や何かお気づきの点がございましたら、ご意見をお伺いしたいと思います。

### 【石川委員】

3 ページの「ちゅうバスがうまく振興していない」とありますが、「ちゅうバスがうまく進んでいない」に変更をお願いします。

### 【事務局】

ちゅうバスがうまく進んでいないという表現に変更いたします。

今、ご指摘いただいた点を修正の上、資料の通り、第5回議事録の内容を確定したいと思いますので、事務局は速やかに公開の手続きを行っていただきたいと思います。

## (3) 審議事項

府中市観光振興プラン(令和4年度～令和11年度) 1章～6章の確認及び意見聴取について

※別紙資料 6-2 参照

### 【大下副会長】

本計画では4つポイントがあります。

①何のために行っているのかの確認・共有、②何を目標とするのか、③そのために何をするのか、④それをどう進めるのか、この4つのポイントが計画の中に盛り込まれているとだけいただければと思います。

1つ目の何のためにに行っているのかという部分ですが、3ページ、4ページに記載があります。今まで議論してきましたが、まずはこの部分を共有することが大事だと思います。この中で「持続可能」という言葉が出ております。昨年の6月に観光庁が日本版持続可能な観光ガイドラインを定め、SDGsにも関係しますが、持続可能性は観光にも求められている状況になってきております。持続可能は一般的な用語ですが、計画の中では観光の経営力を強化するという点を皆さんからのご指摘でいただいております。経営力の中にはマーケティング、組織力、プロモーション、人材育成、収益性等、様々な経営の資源があるわけですので、それが表されているのが3ページの図であると思います。観光振興プランはこの3つを進めていくんだということをまず皆さんと共有したいと思います。

4ページにそれも含め図で表されていますが、いろいろなものを盛り込んだばかりに、余計に複雑になっておりますが、色味としてすべて同じ緑の丸になっておりますので、表現を編集すればもう少しわかりやすくなると思います。

2つ目は目標は何かという点ですが、これはまさにKGI・KPIと表されていたものです。6ページに大きく3つのKGIがあり、40ページに個別の施策に基づく、KPIの記載があります。目的に向かってそれぞれの取組を進めていくということが書かれています。目標値がこれで適切なのかという点をご意見いただければと思います。

3つ目はそのために何をするかという点で計画そのものの体系になります。ページは39ページ、40ページが一番わかりやすいかと思います。全体像としては、39ページ、40ページに大きく4つの柱を置き、それぞれの中に、合計して6つの項目で観光コンテンツづくりや交流拠点づくり等と記載されております。その中にもリーディングプロジェクト、重点施策、基盤づくりとありますが、このページまで説明が出ておらず、51ページに始めて説明が出てきますので、そこに記載があることはここで明記しておかないといけないと思います。全体的には39ページ、40ページをご覧ください、追加すべき点等を議論いただければと思います。

あくまで観光振興プランという形ですので、これから取り組んでいくことが予想されるものは、入れておいたほうが良い、もしくはあまり書きすぎると、それに縛られてしまうこともあるので、行政計画でよくあるのが「等」という言葉を使うこともありますので、施策の中に「等」を入れておけば、「等」の中に入っているという言い方もできます。そのあたりも含めて皆さんからご意見をいただければと思います。

4つ目がそれをどう進めるかという点です。52ページから54ページに記載があります。先程の何をするかという点は他の計画からすると少し控えめな表現が目立つわけですが、一方でどう進めるかは本計画では細かく記載がされております。推進主体が誰でどう連携を図っていくのかが具体的に示されております。関係機関の方々もこの協議会に参加していると思いますが、このあたりについて具体的すぎないか等、ここまで書いてあれば、誰が、いつ、どう進めるかがわかりやすくて良いのですが、そのあたりも含め、ご意見をいただければと思います。

1点目は共有の部分で何のためにに行っているのかの確認の部分、2つ目は数値的なものはこれで良いのかという点、3点目はどう進めるかは具体的な内容がこれで良いのか、4点目は今後誰と誰がどうやって、いつから進めていくのか、以上4点についてご議論いただければと思います。

【井上（博）委員】

30 ページの人材育成ですが、小・中学生等とありますが、小学生まではイベントやお祭りに来てくれますが、中学生以上、高校生、大学生になるといなくなってしまいます。観光教育がされていないということかと思いますが、そのあたりがどうかという点があります。

また、メインターゲットですが、首都圏 20 代男女等記載がありますが、全くきておりません。このターゲットがくるところは府中ではないと思います。吉祥寺や下北沢のことだと思います。これは今までの客層やメインターゲットを一切外して、新しいターゲットを出すという意味であればわかりますが、各テーマごとのターゲットも全然違っているのではないかと考えております。

**【事務局】**

ターゲットは昨年実施した調査結果に基づき、そこで反応のあった属性を設定をしております。現状来られてないということですが、今までアプローチできていなかったポテンシャルはあるが来ていなかった層を記載しております。

**【井上（博）委員】**

アンケートは「行きたいか」というアンケート内容になっており、「行ってどれだけ使いますか」等まで落とし込んでいないアンケートが多いのではないのでしょうか。

**【事務局】**

府中市の認知状況、理解状況、実際に来られたことがあるか等、一連の観光の指標に沿った形のアンケートになっております。現状来ているコアターゲットを外すという話ではなく、ポテンシャルはあるのに、来ていない人たちに明確にターゲットを絞って、アプローチしていき、+αしていくという話となります。

**【井上（博）委員】**

現場目線で言わせていただくと 20 代男女は来ていないので、かなり違和感があります。

**【事務局】**

ビッグデータや調査結果を基に導出した結果となりますが、違和感があるのであれば、表現の仕方等、再度検討いたします。今まで来ていただいている方はそのまま来ていただき、ポテンシャルのある層もしっかり狙っていこうという話となります。戦略ターゲットという表現が望ましいかもしれません。

**【井上（博）委員】**

それでは、8 年後にその結果がわかるということによろしいですか。

**【事務局】**

そのために KGI を設定しておりますので、指標を基に評価・検証を行います。

**【小野委員】**

副会長が挙げられた4つのポイントの内、3つ目の何をするかというところが40ページかと思います。その一番最後に推進のための体制づくりとありまして、その中身の連携の部分がメインとなっておりますが、今後活動の主体となる観光協会自体の体制強化も必要かと思います。今後この振興プランに沿って動いていくには、機動力のある体制強化は必要になると思います。そのためにここに記載しておいた方がよろしいかと思います。

**【宇田委員】**

どのように進めるかという点で、私も推進主体がほとんど府中観光協会となっておりますのが気になりましたので、小野委員の意見に賛成でございます。

**【石川委員】**

目標に入るのか、どのように進めるのかという点かと思いますが、6ページの市内の来訪者数の考え方ですが、ここではリアルで府中に足を運んだ滞在人口かと思いますが、今後の目標値については、オンラインツアーなども含めたバーチャル的なものも入るのでしょうか。

もう1点が詳細が40ページに記載があるということで、利用者数の調べ方はどのように考えているのか、教えていただければと思います。

**【事務局】**

6ページのKGIについてはリアルの入込数で考えております。オンラインツアー等は各施策に落とし込んだ時に効果・検証は必要と思っております、参加者数等の解析をしていく形かと思っております。指標については同じ基準で見たいけるものを設定する必要があると思っております。

40ページの利用者数についてですが、各施設については、今まで通り利用者数を報告いただく形となると思います。

**【石川委員】**

ちゅうバスやシェアサイクルは交通手段ではなく、観光目的の方がどれだけいるか取れるものでしょうか。

**【事務局】**

これは何らかの形でアンケートを取る等の手法が必要だと思います。

**【深澤委員】**

33ページですが、今までの取組内容の整理で重点施策と進捗とあり、評価がされていますが、どうしてこのような評価になったのか、もう少し説明をしてほしいと思います。何を行ったから「◎」でありますなどの整理がないと次のプランにつなげられないかと思います。評価基準が曖昧かと思います。

**【宇田委員】**

前回私もその点意見を言わせていただきましたが、最後に副会長から振興プランはあくまで大枠であ

り、具体的なものは企業でいうとアクションプランであるとお話があり、実行していく段階で検証して、改善していくということで理解しました。52 ページの 1 の (1) だけに「観光プログラムの定期的な評価・測定」と記載があるので、全項目の中にこのような記載があると良いのかと思いました。ここで全部をしっかりと決めたとしても、8 年先に通用するとは思いませんので、毎年どう評価・検証していくのかをしっかりと記載する必要があると思います。

#### 【事務局】

最後のページに記載の通り、基本的には毎年評価・検証を行い、PDCA を回していく形で考えております。前プランとの違いとしては、40 ページに記載の通り、全プロジェクトに対して KPI を設定しておりますので、しっかりと目標値を設定して、評価・検証していく形となります。

#### 【大下副会長】

井上委員からいただきましたターゲットの話はまさしくその通りで、アンケートを取った後に今から直すことは難しいですが、プランに記載のあるターゲットについては、新たな客層としてプロモーションも含め進めていこうということです。ニーズとしてありながらも、そこにしかるべき手を打ってこなかったのが、来なかった可能性が高いと考えているということです。これからは主要なテーマを決めて、琴線に触れそうな人たちにどのような手段でアプローチをすれば良いか含めて取り組んでいく新たなターゲット層であります。プラン中の表現の仕方も検討した方が良いでしょう。

中核的な推進組織の話ですが、施策の推進主体のページでここまで記載されているプランはなかなかないので、府中観光協会がほとんど推進主体となっている点に皆さんの目が向いたのだと思います。しかし非常に大事なご指摘をいただきましたので、中核的推進組織である府中観光協会が真ん中に当然入られているので、その充実という大きなテーマは行政計画なので、記載しづらいのかもわかりませんが、ぜひ前向きに加えていただければと思います。

目標値の KGI のところですが、今までは観光入込数でしたが、今回はビッグデータを用いた来訪者という形となっています。来訪者というのは観光目的なのか、どうなのかというところの扱いをどうするかという点が出てくると思います。今の状況からすると、都市型観光という前回の会議でも議論がございましたが、地方は温泉などの観光目的がはっきりしていますが、都市部の観光というものは、観光目的なのかどうなのか非常に曖昧な点があるのも特長です。それから観光目的というのは、一番はじめは観光を手段としている場合が多いですが、ある程度成熟してくると観光を総仕上げとしての場合もあります。要するに、地域の方々などいろんな方と交流して少しでも長く滞在していただきたい、満足感を持っていただきたいなど、成熟した観光になるとそのあたりの目的も多様化してきますので、最初の入り口として観光を外貨として見るのではなく、最終的な地域に住んでいる人たちと訪れる方の心の満足度みたいな話も含めて KGI をどうとらえるのかを少し意識しておいた方が良いでしょう。従来型の観光施設を積み上げた形で見ると、必ずしも観光目的ではないけれども、ビッグデータで取り、定期的に観光目的の割合を拾っていくのか、そのあたりもしっかりと軸を定めておく必要があると思います。

33 ページ、34 ページの評価の部分ですが、それぞれの項目に対して取り組みが書かれておりますので、そのあたりも含めて評価を見ていただくとわかりやすいかと思います。

毎年の評価ですが、58 ページに観光振興連絡会を中心として、PDCA を回していくことが記載がありま

す。毎年アクションプランを作り、PDCA を回していく形になるのだと思います。

スローガン・コンセプトについて

※別紙資料 6-2 参照

**【井上（博）委員】**

都心（みやごころ）と検索しますと精神科医が出てくると、「みやごころ」とひらがなで検索すると「都心（としん）」の間違ひではないかと出てきます。こちらで大丈夫でしょうか。

**【事務局】**

調べてみますが、漢字だけでは、みやごころと読んでいただけないので、このように併記して表現しております。この文言自体に違和感があるかどうか本日お伺いできればと思います。また、コンセプトに「上質な」と記載しております。今までの皆さんの議論の中で歴史にプライドを持たれていると感じましたので、このように「都心（みやごころ）」や「上質な」という表現を使用しておりますが、ギャップを感じる方もいると思います。前回の会議の際も、府中市には今様々な層の方が住んでおり、府中に住んでいても知らないという方もいるので、少しインパクトのある表現にしております。

**【小野委員】**

都心（みやごころ）と聞いてなるほどなという部分と少し違うという印象もありました。少し上から目線にならないような都意識が良いと思いますし、府中の特色は都心（みやごころ）の中でも粗野の部分、粗野の中でも雅の気持ちを持っている、そのバランスの良さが特徴だと思っています。ちなみに江戸時代に江戸から府中の観光にきて、お祭りなど見に来るわけですが、その時の日記や紀行文が残っています。その中の一つに遊歴雑記というものがありまして、お祭りをみて一言感想をもらしている、その言葉が「実に古雅なことだ」と言っています。古い雅と言っています。その辺が江戸の人にとって、くすぐる部分でもありますし、それを聞いた府中の人にくすぐられる部分かなと思います。もしかしますと、「都心（みやごころ）」ではなく、「雅心（みやびごころ）」のようなことでも良いのかと思いました。お祭りのような非常にアクティブなこともありながら、景色を見れば雅もあるので、そういった点もご検討いただければと思います。

**【得居委員】**

府中は雅（みやび）や都心（みやごころ）なイメージがなく、テレビマンとしては出てこない言葉であります。また、以前より協議会で上質やプライドという言葉も出ておりましたが、そのような上から目線的な部分や高貴なものというイメージはないです。良い意味で古代的な今でいう昭和レトロのようなイメージがあるので、雅（みやび）や都心（みやごころ）はイメージがないです。

**【筒井委員】**

3 ページの図につながってくるのかと思いますので、この図も含め見やすくしてほしいと思います。

**【廣瀬委員】**

市民が誇れるという点や経営力に基づくなどの表現が、スローガンに加わっても良いのかと思います。

#### 【井上（光）委員】

都心（みやごころ）と聞いたときに京都のイメージがあり、近鉄には都ホテルなどがあります。府中はイメージが湧かないと思います。私は市外に住んでいますが、府中に来た時に、府中の人たちは自然体で変に飾っていない、そういったところが、府中の住みやすさであり、人の良さであると思いますので、そのあたりを表現する良い言葉はないかと思いました。

#### 【大津会長】

昔のものが伝わってきて今があるという意味を込めて、都心（みやごころ）は良いのではないかと思います。

#### 【林委員】

都心（みやごころ）はスローガンとなるので、皆さんがイメージ湧くのか、かと思います。一般的な言葉ではないので、皆さんが何を想像するかというところで曖昧になってしまうと難しいかと思います。また、コンセプトも「新奇性を競い合う都市とは異なる」という点が少し上から目線になっていないか危惧するところです。

#### 【横山委員】

都心（みやごころ）、雅心（みやびこころ）はそんなイメージではないです。府中に住んでいる方も府中の歴史は知らない方が多く多いです。新しい方はやはり知らないですし、くらやみ祭も知らない方が多いと思います。住んでいる人がもっと知ってもらうことが先決かと思います。都心（みやごころ）は府中に合わないと思います。

#### 【得居委員】

先程井上（光）委員がおっしゃっていた親しみやすさや歴史的なことという、南北の交通の要衝であるまちということもあり、そこに人が集まりやすい、人が立ち寄りやすいということもあると思いますので、

ちょっと府中を経験すると、また帰ってきたいまちと思えるような、楽しみを残してまちをあとにするようなまちかと思います。そういった意味では、上から目線やより難しいものではないかと思いますが、一人一人が主役で多様性を持っているまちで、また足をとめて行きたくなるようなまちが良いのではないかと思います。最初にこの会議でお話しましたが、人情深いまち、温かさがあるなどの表現になると良いかと思います。

#### 【小野委員】

府中は都（みやこ）であっても雅（みやび）であっても決して上から目線でなく、よそからくすぐられて、人情豊かになる場所であると思います。都市と言っても開放性と求心力があるまちという意味で、もともと府中はそこに住んでいた人ではなくて、武蔵国中から人が集まりできたまちであります。

東京のふるさとはどうでしょうか。東京全体のふるさとのような解放感、温かみがあるまちということで提案いたします。

#### 【大下副会長】

都心（みやごころ）とありますが、都というと東京都のことをイメージされるのが多いかと思います。地域を表す言葉、観光に関連する言葉として、例えば両国では「粋を楽しむ」としています。訪れた方が粋だと感じていれば良いので、そのような表現にしております。また、佐原では「江戸まさり」としています。川越や栃木よりも上だという自負があり、江戸より勝っていたということでそのような表現をしております。したがって、地域の方々の気質をスローガンに入れるやりかたとプランの中身の特長を入れるといったように2つのケースがあると思います。そのどちらにするのかの検討が必要です。

もう一つが計画の中でスローガンという記載はあまりみることがないです。タイトルには基本目標、目指すべき姿を定めると記載がありますので、目指すべき姿にするという方向も検討いただければと思います。

その時に雅（みやび）を育むという感じでもなさそうですので、プランの性格的なものも考えると、いろんな人が地域の中に集まってきた多様性を迎え入れるものがあつたとすると、テーマとしては風と土みたいな表現はいかがでしょうか。外から来た人が風であり、その地域の中にいる人たちが土であり、その両方がある、今後の新しい観光の風土が生まれていくようなイメージかと思います。そして、地域全体が皆さんにとって行きやすいものであるのであれば、府中の観光を皆さんの今として捉えて気軽にきてくださいというような表現もあるかと思います。

いずれにしても、スローガンは全員の意見が一致することは難しいと思いますので、観光を通じてどういう目指すべき姿にするのかも検討いただければと思います。その際に冒頭でお話した、地域の方々の気質を入れるやりかたとプランの中身の特長を入れるやり方も検討が必要かと思います。本日で協議会も最後ですので、事務局で取りまとめ、会長に一任する形でよろしいかと思います。

#### 府中市観光振興プランの答申について

※別紙資料 6-3 参照

本答申につきましては、令和2年9月14日付で市長から諮問された事項に対するものです。「令和4年度から始まる新しい府中市観光振興プランを策定すること」を諮問事項とし、府中市観光振興プラン検討協議会において審議し、令和3年12月28日（火）までに答申することを依頼されております。鑑文については、資料6-3のとおりです。この鑑に、本日の議論も反映した、最終的な観光振興プランの案を添付し、10月15日金曜日に大津会長、大下副会長から市長にご提出いただくことを予定しております。

#### 【大津会長】

これで1年前に市長からいただいた「令和4年度から始まる新しい府中市観光振興プランを策定すること」という諮問に対する答申が決定いたしました。10月15日付で答申させていただきます。

#### (4) その他

委員の皆様からの感想

#### 事務連絡

1 点目は観光振興プラン公開までのスケジュールになります。

委員の皆様にご検討いただきました観光振興プラン案につきましては、本日のご意見等を踏まえて必要な修正を行った上で10月15日に市長へ答申をいただき、その後12月にパブリックコメントの手続きを行う予定です。

パブリックコメント終了後は、いただきましたご意見等をもとに、プラン案に必要な修正を施します。その際に、必要に応じて委員の皆さまに修正部分をご確認いただき、3月の議会で承認いただいたのち、正式な市の計画として策定・公表する予定です。

次に、本日の議事録の確認についてです。従来のおり議事録案を作成しましたら郵送でお送りいたしますが、今後の会議はございませんので、恐れ入りますが、修正箇所がありましたら期日までに事務局へご連絡をいただきたく存じます。修正を反映した最終案を大津会長にご確認いただいたうえで公開したいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

では、そのように進めてまいります。事務局からは以上です。皆さま長い間、誠にありがとうございました。

#### 【大津会長】

それでは、以上をもちまして、府中市観光振興プラン検討協議会を 終了させていただきます。長い間お疲れ様でございました。誠にありがとうございました。